

固形燃料RPF施設

RPFは化石燃料に代わる固形燃料で、古紙や廃プラスチックなどを適切に分類・破碎し、石炭と同等のカロリーになるように調整し、成形加工して製造しています。有害な物質が含まれていないことなどを検査し、納入しています。



RPF製造ライン

破碎機

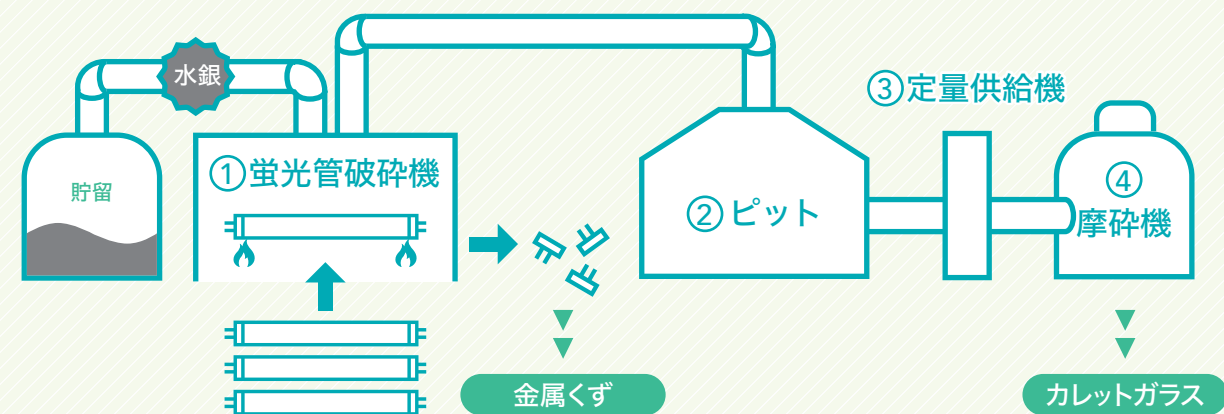


定量供給機

減容・成形機

蛍光灯再生プラント

蛍光灯を破碎してガラスと口金に分け、蛍光塗料に含まれる水銀を無害化します。ガラスはグラスウールの原料として、口金は金属くずとして再利用します。処理能力は40W直管の場合、1時間あたり900本の破碎が可能で、安全・迅速にリサイクルします。



OA機器処理プラント

お客様の大切なデータと再生資源がたくさん詰まったOA機器を手作業で分解し、磁気メディアやハードディスクのデータは物理破壊により確実なデータ消去を行っています。



解体・廃棄物処理一貫システム

木造家屋、鉄筋・鉄骨建物など様々な建物の解体工事から処理まで一貫して行います。

解体工事で出た廃棄物は自社工場へ持ち込み、可能な限り資源としてリサイクルします。アスベストも適切に処理し、安全面・環境面にしっかりと配慮しています。



固形燃料RPF施設

- ① 量などの大きな廃棄物を小さくします。
- ② 1軸破碎機で原料をさらに細かくします。
- ③ 定量供給機により、廃棄物を作業効率の良い量で送り出します。
- ④ 廃棄物を圧縮減容し、RPFを製造します。
- ⑤ 製造時の臭いはオゾン水によって消臭されます。
- ⑥ 製造されたRPFは外の集積ピットに運ばれ、性能検査を行います。

蛍光灯再生プラント

- ① ガラスと口金を分け、ガラスを破碎します。水銀は貯留し、協力会社にて無害化、焼却処理されます。
- ② 破碎されたガラスを溜めます。
- ③ ピットに溜まったガラスを適正に供給します。
- ④ ガラスをさらに細かく破碎し、手に取っても危険がないように角を取ります。



蛍光灯破碎機



蛍光灯再生プラント

リサイクル率

99.9%